



「命」

校長 嶋田 一郎

ボランティアで各地の少年院を訪ねて講演しているゴルゴ松本さんが、「あっ！命の授業」という本を出している。そこには、いろいろな言葉や漢字を使って、みなさんを激励する話が書かれている。非常にいい話なので、少年院での話も含めて、少し紹介したい。

少年院で子供たちに幸せの反対はなんだと思うと言うと、必ず「つらい」というらしい。そこで、「幸(しあわ)せ」という字と「辛(つら)い」という字は似ているけれど、どこが違うかと聞くと、一本足りないと言う。辛いときというのは何か欠けている。心の中に何か欠けているわけである。だから何かそれに気づいて、一本足(た)してあげれば幸せになれると言う。

命についても話している。女へんに土台の台で「始」である。すべての始まりは女性なのだ。また、人を一叩きと書いて「命」となる。お母さんのお腹の中にいるときから、心臓のトックントックントックン、この一叩き、一叩きの連続が命である。この命を生んでくれたのがお母さんなのだ。だから、お母さんが産んだ君たちの命を、君たちでつないでいって欲しいと話している。

もうすぐ春である。あらゆる生命の躍動する時となる。みなさんも自分の命を大切に、これからの自分の人生を楽しく元気に過ごして欲しい。そして、お母さんに感謝の気持ちを伝えて欲しい。

1年を振り返り、次年度に繋ぐ

今年度は、本校創立以来51年目という新たなスタートを切った年であり、昨年度までの反省を踏まえ、「導入期指導」・「キャリア教育」等、新たな取り組みを行った年でもありました。このような取り組みが、資格取得の推進や高い進路決定率(就職100%、進学98%)に表れてきています。また、学校評価においても満足度が向上する項目が、年々、増加傾向にあります。

部活動においては、バドミントン部・女子サッカー部・柔道部(女子個人)が県高総体3位に入賞するという輝かしい成績を収め、他の部活動でも各種大会での上位入賞が見られました。

反省すべき課題点を改善して、更にスパイラルアップに努めていきます。



自動車工学専攻科 第36回卒業証書授与式

3月4日(土)、自動車工学専攻科の21名の生徒が本校を巣立ちました。

この21名は、全員就職内定しており、3月26日(日)に行われる2級自動車整備士国家試験において、全員が合格することを祈るばかりです。

卒業式は、多くの御来賓・保護者の皆様に御出席いただき、厳粛な中にも心温まる卒業式となりました。衷心よりお礼を申し上げます。

前日には表彰式が行われ、今年度は、水田有一君が「日本私立中学高等学校連合会会長賞」、宮崎優治君が「産業教育振興中央会会長賞」を受賞しました。

近年、自動車業界は整備士の人材不足が問題となっており、専攻科の卒業生は貴重な戦力として各企業から活躍を期待されています。

一方、新しい動力源を利用した自動車の実用化、更に、自動停止ブレーキや自動運転等の高度な技術が装備されるようになり、このような技術を修得するには、より一層の自己研鑽が求められます。自ら率先して最先端技術の習得にチャレンジし、自動車産業や社会から求められる人となってくれることを願っています。



平成28年度 学校職場見学会を実施

3月7日(火)に1・2年生全員を対象にした「学校職場見学会」を実施しました。

普通科1年生は県内の専門学校、普通科2年生は県内の公私立専門学校2校を訪問しました。

総合ビジネス科1・2年生は九州地区の企業をそれぞれ1社または2社訪問しました。

自動車工学科1年生及び機械科1年生は、九州北部地区や県内の企業の訪問をしました。

自動車工学科及び機械科2年生は、長崎県のキャリアサポート事業として県内の主要な企業及び長崎運輸支局等を訪問しました。

いずれの訪問先でも学校・企業の方々の説明を真剣に聞き、今後の進路達成へ向けて大変有意義な見学会になりました。

お世話になった各関係の皆様へ、心からお礼を申し上げます。

生徒の皆さんは、進路決定をする際の参考として、この体験を生かして欲しいと思います。

